

議会だより

令和6年

第78号

10月11日発行

令和の米騒動

今夏、全国的にコメが品薄となり「令和の米騒動」と言われる状況に陥った。8月の台風、大雨に耐えた本町の稲は黄金色に輝き、収穫最盛期を迎える。

Contents

- 臨時会・定例会で決まったこと ②～③
- 決算審査特別委員会審査報告 ④～⑤
- 一般質問 町政を問う ⑥～⑪
- 所管事務調査報告 ⑫～⑬
- 常任委員会の審査報告 ⑭～⑮
- 議会のうごき ⑯

9月の一般質問は…

- ・水産業振興は（中浦 雅彦）
- ・総合運動公園事業の見直し（上筋 睦雄）
- ・空き家解体撤去事業の実績は（浦 弘成）
- ・ポケットパーク展望所の充実を（古田 一博）
- ・基本計画で鷹巣中学校に策定したことについて（竹山 司郎）

災害関連予算に

8779万円を計上

令和6年第3回長島町議会臨時会が8月23日に開かれた。令和6年度一般会計補正予算（第2号）では、10月開始の乗合バス運行事業費や、太陽の里、だんだん市場などの観光施設を改修、修繕する地域一体型観光産業高付加価値事業などを盛り込み（9739万円追加、総額124億8058万円）を可決した。

令和6年第3回長島町議会定例会が、9月6日から25日まで20日間の日程で開かれた。

令和6年度一般会計補正予算（第3号）は、新型コロナウイルス予防接種委託料やB&G海洋センタープール解体工事に係る費用、大雨による災害復旧経費など1億9451万円を追加し、126億7508万円となったほか、2特別会計に係る補正予算などを審議した。（審議の詳細は14～15ページ。）



オイル漏れが発生している諸浦港可動橋

また、決算審査特別委員会を設置し令和5年度決算を審査したほか、総合運動公園スタンド棟新築工事請負契約や、国民健康保険条例の一部を改正する条例など、認定13件、議案12件を審議した結果、原案のとおり可決した。

最終日の25日には、台風10号による災害復旧経費や諸浦港埠頭可動橋改修事業のための一般会計補正予算（6493万円追加、総額127億4000万円）などが追加提案され、原案のとおり可決した。

定例会で決まったこと

健全化判断比率・資金不足比率を報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めるところにより、長島町における令和5年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率が報告された。

港整備交付金工事2地区の請負工事を契約締結

・長島港浜瀧地区（R6―2工区）
浮桟橋の係留杭4本の製作・設置工などを行う。請負金額5885万円で、工期は令和7年3月24日まで。阿久根建設（株）阿久根支店と契約締結。

・長島港脇崎地区（R6―2工区）
浮桟橋本体の製作と運搬・設置工などを行う。請負金額1億3112万円、工期は令和7年3月24日まで。ティエス（株）と契約締結。

平尾地区、獅子島地区に防災拠点を設置

B&G財団「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」事業開始に向けて、防災倉庫の整備や、水上バイク、軽トラダンプ、ドローン等の災害資機材を購入する。

陳情

長島町立中学校再編についての陳情書

旧長島町の公民館長18名から連名で提出。本島地区の中学校4校を1校に統合し、新設校を鷹巣中学校に置くとする基本計画案について、旧長島町地区では激しい反発の声が起こり、住民理解が進んでいないため、鷹巣中学校への統合案を議会の多数決で決することがないよう要望するもの。

学校統合に関する陳情

- ①長島町立中学校再編に伴う鷹巣中学校選定についての陳情書
（令和5年11月28日）
陳情書 （令和6年7月21日）
- ②長島町立中学校再編についての陳情書
（令和6年7月21日）

陳情2件については、第8回学校統合再編調査特別委員会において、適切な結論を得るに至らず閉会中に審議する必要があるとの理由により、継続審査となった。

審議結果一覧

※議事進行を行う議長を除く議員13名で採決

令和6年第3回臨時会		
番号	議案等名	採決結果
議案第65号	令和6年度長島町一般会計補正予算（第2号）	原案可決
令和6年第3回定例会		
番号	議案等名	採決結果
認定第1号	令和5年度長島町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	令和5年度長島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第3号	令和5年度長島町国民健康保険診療施設特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第4号	令和5年度長島町へき地診療施設特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第5号	令和5年度長島町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第6号	令和5年度長島町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第7号	令和5年度長島町諸浦港埠頭特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第8号	令和5年度長島町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第9号	令和5年度長島町漁業集落環境整備特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第10号	令和5年度長島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第11号	令和5年度長島町太陽光発電特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第12号	令和5年度長島町観光施設特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第13号	令和5年度長島町水道事業会計決算の認定について	認定
報告第2号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	－
議案第66号	港整備交付金工事 長島港浜漕地区（R6-2工区）請負契約の締結について	可決
議案第67号	港整備交付金工事 長島港脇崎地区（R6-2工区）請負契約の締結について	可決
議案第68号	社会資本整備総合交付金事業 長島町総合運動公園スタンド棟新築工事請負契約の締結について	可決
議案第69号	鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決
議案第70号	長島町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第71号	長島町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第72号	団体営土地改良事業計画の変更について	原案可決
議案第73号	新たに生じた土地の確認について	可決
議案第74号	字の区域変更について	可決
議案第75号	令和6年度長島町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第76号	令和6年度長島町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第77号	令和6年度長島町諸浦港埠頭特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第78号	令和6年度長島町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第79号	令和6年度長島町諸浦港埠頭特別会計補正予算（第2号）	原案可決

令和6年度補正予算の主な事業費（単位：千円）

○第3回臨時会 一般会計（第2号）

乗合バス等運行事業に係る経費……………11,036
 自然休養村センター解体に伴うアスベスト除去
 ……6,670
 地域一体型観光産業高付加価値事業……………79,686

○第3回定例会 一般会計（第3号）

B & G財団防災拠点設置に伴う工事請負費
 （平尾防災倉庫・獅子島防災倉庫）……………22,000
 B & G財団防災拠点設置に伴う備品購入費
 （水上バイク・軽トラダンプ・発電機等）13,983
 なんでも鑑定団広告料……………264
 獅子島交流イベント委託料（卓球大会）……………300
 封入封かん機購入（1台）……………4,306

子ども医療システム改修委託料……………1,485
 橋梁長寿命化対策調査委託料……………2,300
 大雨による農地の災害復旧に係る経費（畑11箇所）
 ……28,850
 農畜産物処理加工施設 真空煮釜購入 ……1,683
 中学校再編に伴う基本計画策定等支援業務委託
 ……4,400
 B & G海洋センタープール解体工事……………24,933

○介護保険特別会計（第1号）

令和5年度国県補助金過年度清算に伴う還付金
 ……8,345

○諸浦港埠頭特別会計（第1号）

諸浦港可動橋維持管理に伴う経費……………547

令和5年度決算を認定

「見える化」とチェック体制の強化を

令和6年第3回長島町議会定例会では、令和5年度の一般会計と各特別会計、水道事業会計（公営企業会計）の決算認定13件が決算審査特別委員会（小田勝志委員長）に付託された。

第1表は、一般会計の決算状況をグラフ化したもの。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた残額は7億158万円、翌年度（6年度）への繰越額（8521万円）を差し引くと6億1637万円の黒字となった。これから前年度（4年度）の実質収支額（7億1133万円）を控除した単年度収支額は、9497万円の赤字となった。

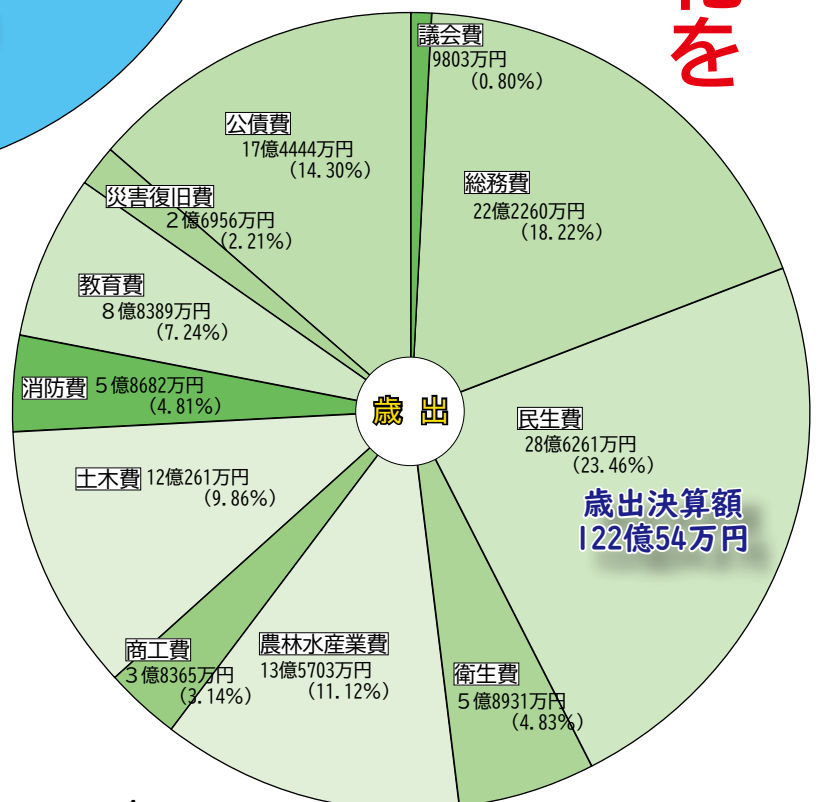
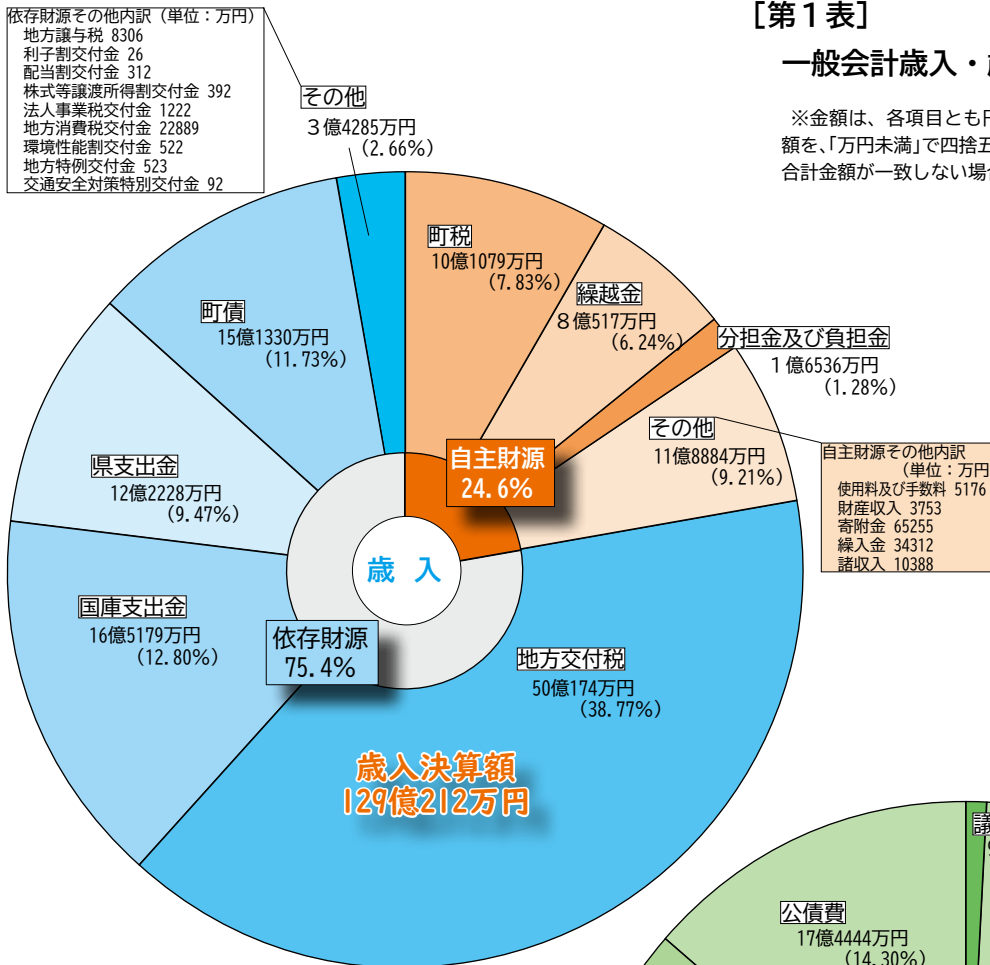
第2表には11の特別会計の収支状況をまとめた。

水道事業会計では、水道事業収益3億3250万円で、うち給水収益は1億8058万円（収入の約54%）。水道事業費用は4億655万円で、当年度純損失は7969万円となった。

【第1表】

一般会計歳入・歳出の状況

※金額は、各項目とも円単位で計算した額を、「万円未満」で四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合がある。



歳入の状況

自主財源である町税の収入額は10億1079万円で、収入総額に対して、約8%。構成比で最も大きい地方交付税は50億174万円で、歳入全体の約39%と、本町の財源が地方交付税への**依存体質**であることを示している。

【第2表】特別会計の収支の状況

(単位：円)

区分（特別会計名称）	歳入総額	歳出総額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額	単年度収支
国民健康保険	2,269,739,727	1,898,793,085	0	370,946,642	15,811,366
国民健康保険診療施設	454,090,967	439,736,164	0	14,354,803	△ 6,194,726
へき地診療施設	52,739,437	45,186,033	0	7,553,404	△ 2,176,612
介護保険	1,370,633,358	1,284,193,729	0	86,439,629	8,848,991
簡易水道	157,857,769	151,111,632	140,360,000	△133,613,863	△ 138,130,397
諸浦港埠頭	8,552,221	4,700,531	0	3,851,690	△ 988,941
農業集落排水	64,429,848	60,101,144	0	4,328,704	2,987,706
漁業集落環境整備	41,923,565	37,380,257	0	4,543,308	3,973,673
後期高齢者医療	179,312,427	176,122,559	0	3,189,868	△ 12,342,849
太陽光発電	178,393,832	143,671,381	0	34,722,451	△ 46,873,743
観光施設	122,582,639	121,150,572	0	1,432,067	1,411,561
合 計	4,900,255,790	4,362,147,087	140,360,000	397,748,703	△ 173,673,971

【第3表】水道事業会計の収支の状況

(単位：円)

水道事業	収益的収支（経常的な運営経費）			資本的収支（水道施設整備などの投資的経費）		
	収 入	支 出	差 引	収 入	支 出	差 引
	314,440,338	394,128,494	▲79,688,156	60,600,000	174,048,953	▲113,448,953

※不足分は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填した。

委員会の質疑から（一部抜粋、審査順）

▼地方創生課

Q. 地域おこし協力隊を雇用する際のガイドラインはあるか。退任後の定住率は。

A. 国が定める手引きを準用し、雇用時のガイドラインは作成していない。地域おこし協力隊は現在までに16名在籍し、引き続き長島町に住んでいるのは6名で定住率は約37%。

▼教育総務課

Q. ぶり奨学金の令和5年度末時点の基金額はいくらか。また、先月開設された「長島大陸みらい創生研究所」には教育総務課から何人参加しているのか。

A. ぶり奨学金の基金残高は約3億2000万円。研究所には教育総務課から1名が参加している。

▼社会教育課

Q. 獅子島化石調査はどのような状況か。また、発掘現場への仮設道路の考えは。

A. 東京都市大学と連携し、継続調査を行っている。令和5年度は8月に発掘調査を行い、脊椎動物の化石やカメの化石、新たなボーン

ベッドも発見した。仮設道路については、高低差の少ない所に新設できないか検討する。

▼農政課

Q. マンダリンセンター及びみかん展示園の指定管理者に対して、どのような管理を行っているか。

A. 指定管理者から、年間計画と実績の提出はあったが、担当課として月ごとの指導や管理は行っていない。

Q. マンダリンセンター4階・5階の家賃収入分について、指定管理の委託料を減額する考えはないか。また、令和5年度分について、今年度で補正するというのでよいのか。

A. 家賃収入は指定管理者の収入となるため、老朽化した施設の改修費等の経費に充ててもらいたいと考えているが、今後、協議を行った上で減額補正を行う。

委員会の
附帯意見

指定管理である日本マンダリンセンターの委託料について、これまでも委員会で再三指摘したにも関わらず、地方創生課所管の長島大陸まちデザインの借地料等、実績報告に対して決算認識の判断誤りや、担当課による指定管理者への監督不行き届きが大きな要因であると言わざるを得ない。

今後は関係者との連携を密に「見える化」を図り、関係条例や指定管理者の協定書の見直しを視野に、農政課によるチェック体制の構築を強化すべきである。

一般質問

町政を問う

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねること。

単に疑問をはらし、事実関係

を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動である。

令和6年第3回定例会（9月）では次の5人の議員が質問した。

1 中浦 雅彦（7ページ）

- ・水産業振興は
- ・新型コロナウイルス対策について
- ・観光振興は

2 上筋 睦雄（8ページ）

- ・長島町立学校の在り方
- ・総合運動公園事業の見直し
- ・灯台線と交わる道路の整備

3 浦 弘成（9ページ）

- ・長島町危険空き家等解体撤去事業の実績と促進状況は
- ・農地の耕作放棄地拡大を防止する対策について
- ・「長島大陸みらい創生研究所」の目的と経緯は

4 古田 一博（10ページ）

- ・指江川から水田に繋がる井堰の早急な整備を
- ・ポケットパーク展望所の充実を

5 竹山 司郎（11ページ）

- ・中学校再編に伴う基本計画で新中学校用地として鷹巣中学校に策定したことについて

一般質問の内容を視聴できます。
詳しく知りたい方は、議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ってください。



クジラ漂着の説明看板等を 設置する考えはないか

答 費用面も含めて調査・研究する

水産業振興は

中浦 漁業の情勢は生産量の減少、燃油価格の高騰、漁業就業者の減少や高齢化等で厳しい状況が続いているが、燃油価格高騰支援対策の現状は。

町長 令和6年度は支援する予算措置はないが、今後、国や県に対して働きかけていく。

中浦 スマート水産業機器導入設置の補助金の考えはないか。

町長 町において補助

金の制度はなく、国ではスマート機器等の導入を支援する水産業普及推進事業がある。

中浦 ①たびたび有害赤潮被害が発生しているが、国や県の支援は。②赤潮発生メカニズムの解明及び発生防止対策は。③東町漁協の新加工場の整備に最後まで町の絶大なバックアップを。

町長 ①町では、本年6月に発生した赤潮被害について、7月26日に塩田知事へ6項目の要望を行った。②国及び県が水産技術センターで赤潮防除試験等を調査研究しており、本町からも働きかけに努めていく。③特殊な加工施設については、町もできるだけ応分の対応ができるよう協議していく。

新型コロナウイルス 対策について

中浦 令和5年5月に5類感染症に移行となったが、現在の患者数は。また、障害のある方や高齢者といった弱い立場の方々への検査費やワクチン接種の補助は。

町長 感染者数は指定医療機関の定点把握に変更となったため、公表されていない。検査費は保険適用となる補助はない。ワクチン接種補助はインフルエンザ予防接種と同様に、新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業として助成事業を実施する。

観光振興は

中浦 7月26日頃、マッコウクジラが火ノ浦海岸付近に漂着したが、説明用の看板を設置する考えはないか。

町長 説明看板だけではなく、例えば標本やレプリカなどを設置することで、集客に繋がり、だんだん市場を含む島内商店の売り上げにも貢献できると思われる。補助事業等を調査・研究する。



クジラの説明看板（薩摩川内市西方海岸）

中浦 雅彦 議員



動画は
こちら



東町漁協の新加工場建設予定地（薄井漁港：竹島）

上筋 睦雄 議員



動画は
コチラ →

長島町立学校の在り方は

答 文化を理解した形の教育を

長島町立学校

上筋 長島町立学校の法的根拠、在り方は。

教育長 学校教育法施行規則では、学校の目的を実現するために必要な校地、校舎、運動場、図書室、保健室等を設けなければならないとされ、学校的位置については、教育上、適切な環境にこれを定めなければならないとある。

また、教育行政機関としては、①政治的中立性の確保。個人的な価値判断や特定の党派

的影響を受けない。
②継続性・安定性の確保。③地域住民の意向の反映。となっている。

上筋 地域との協同は。

教育長 児童生徒のボランティア活動や体験活動等で、講師や学校運営協議会委員の協力を得ている。今後、4校の中学校が統合再編された場合、現校区からの委員の協力や、学校から離れた地域とも連携を図りながら、学校運営、さらには地域振興の一翼を担っていかねばならないと考える。

上筋 経済的課題の位置付けは。

教育長 現在の学校を存続した場合、40億円程度の工事費が必要と

長寿命化計画では試算されている。

上筋 島根県海士町あまに

隠岐島前高校があり、全国から留学生が来ると聞く。将来構想として、小中一貫校、中高を一つにした中等学園型の高校創立の考えは。

教育長 町単独の高校創立は現段階では困難と考える。

上筋 本町の鰯、ジャガイモが特産品となった背景には、町民の努力、血と汗と涙の結晶であり、人間力、地域力の賜物。いわゆる無形の文化である。学校教育においても継承し、紡ぐべきでは。

教育長 努力が姿かたちとして残されている。これらの「文化」

を理解した「教育」を実施していきたいと考えている。

上筋 海、森、空を満喫し、「長島でしか」「長島だから」できる、人の育つ学校づくりを。

教育長 長島の良さを真剣に考え、教育行政に携わっていきたい。

総合運動公園

上筋 予算約13億円を投入し、さらに5億円を要する。将来的に費用対効果は良いと言えないが、現況の防災事象に鑑み、「総合運動・防災拠点公園」として整備すべきでは。

町長 各関係機関との連携を図り、防災拠点機能を整備することも

検討していく。

灯台線について

上筋 灯台線に交わる町道の整備を。

建設課長 一部区間において路肩の幅が取れていない箇所があった。安全性確保のため、路肩の補修、車道外側線の設置を検討する。



長崎鼻灯台へと続く町道

小規模農地の賃料と 倉庫等の解体工事への補助を

答 調査・研究する

危険空き家等解体 撤去事業について

浦 ①実績と補助基準は。②申請から交付決定までの手順は。③補助対象は居住するための建築物のみとあるが、居住していない昔ながらの小屋・倉庫等の建物に対しても、解体の補助体制ができないか。

町長 ①令和2年から6年まで63棟で、1棟あたりの補助金額は、平均で190万円。補助は解体経費の8割以内である。②申請後、危険度判定を実施し、結果を申請者へ報告するが、申請が多いため、解体まで2〜3年を要している。③今後の状況を見ながら調査、研究する。

農地の耕作放棄地 拡大防止対策を

浦 現在、農家は高齢化と担い手不足で、耕作放棄地が拡大し、農地の荒廃は深刻だと言われているが、町の対策は。

町長 農地中間管理事業による農地の賃借を推進し、令和5年までに21地区で638畧の農地が農地バンクを通じて契約されている。

危険空き家

浦 この農地中間管理事業は、中山間地域などの小規模の農地は、農地集積の協力の交付要件に達しないため進んでおらず、遊林地が多い。現在、農業委員会の農地の賃料水準として、賃料は10万円あたり1万5000円となっている。遊林地

を減らす対策として、賃料に町の助成はできないか。

町長 新しい制度を創設していくというのは難しいのではないかと認識している。

令和6年度 農地の賃料水準

(10aあたり／1年間)

農地の区分	水準額(円)	備考
田及び畑 基盤整備完了地	15,000	基本的に土地改良施設畑かんの維持管理負担金は、借主が負担する
田及び畑 未整備地平坦	10,000	
田及び畑 未整備地山間	5,000	
甘夏柑成園	20,000	付帯施設は除く
ハウス設置農地	20,000	

長島大陸みらい創 生研究所

浦 長島大陸みらい創生研究所を創設した目的と経緯は。また、具体的な政策は。

町長 デジタルの力を活用し、地方創生を加速化・推進化して、総合戦略の見直しを図り、地域課題を解決する目的である。創設の経緯は、町の総合戦略策定委員会からの提言により必要であると判断し発足した。目指す最終目標は、地方創生の目的である。町と慶応義塾大学SFC研究所、鹿児島相互信用金庫が連携、協力し、本町の地方創生の取り組みについて改善を加えて長島町の未来に資するプロジェクトを創出する拠点となることを期待している。

浦
弘成
議員



動画は
こちら



危険空き家

古田 一博 議員



動画は
コチラ

いせき 指江川の井堰の 早急な整備を

答 できる方法で検討・研究する

二級河川・指江川から水田につながる井堰の早急な整備を

古田 大雨のたびに河川からの側溝が砂利や石で埋まるため、その都度、地権者が大変な苦勞をしている。今後、大雨が降っても安心してできるような側溝設備ができないか、対応策を伺う。

町長 中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度等の補助金を交付している。地域の方が共同で農用地や水路などの地域資源を

良好な状況で保全管理していただくよう、効果的に補助金を活用してもらいたい。

古田 合併前からの要望であり、川に水があっても流れが悪いため、井堰の早急な改善ができないか伺う。

町長 暗渠を替えて流れを良くする方法。通常は井堰を閉め、水が必要になると開けることができないか。河川の許可が取れるようであれば、パイプラインで

上流から引く方法など、できる方法で検討、研究していく。

井堰から水田に流れる側溝の整備を

古田 水路側溝自体も壊れている所が数箇所あるため、パイプ等を利用して下流の水田まで届かない状況であり、早急に改善できないか伺う。

町長 県単事業での改修工事等を目指して早急に取り組む。

ポケットパーク（汐見）展望所の充実を

古田 屋根付きベンチ要望の進捗状況は。

町長 屋根付きベンチについては、かなりグレートの高いものが必要となるため、既に国道事務所に整備する事業がないか相談している。

古田 パーク内に長島町独自のトイレを新設できないか。



ポケットパーク（汐見）展望所

町長 トイレに関しては維持管理も大変なことから、長島町の三大トイレ（行人岳鶴の展望所・針尾公園・改装予定の指江道の駅）を利用していただく。汐見ポケットパークのトイレについては設置する考えはない。



田に水を取り込むためのパイプ（指江川）



指江川床線

住民投票を実施してはどうか

答 実施する考えはない

中学校再編に伴う基本計画で新中学校用地として鷹巣中学校に策定したのはなぜか

竹山 新中学校用地を鷹巣中学校とした場合、新たに取得する用地買収の概算事業費は。

教育長 現段階での概算費用総額は18億2334万円となっている。

竹山 長島町立中学校再編について、陳情書

が出ているが、それに対して町の考えは。

町長 西地区の公民館長18名の連名で陳情を受けたと聞いている。最終的な判断は議会への陳情と受け止めている。

竹山 鷹巣中学校の校舎等の経過年数及び耐用年数は。

教育長 管理教室棟は46年経過。屋内運動場及び地域学校連絡棟は40年経過。教室棟は25年経過している。法定耐用年数は47年だが、長寿命化改修を行うことで30年間の延長が可能。

竹山 校舎を耐震化すると耐用年数が30年以上延長することだが、費用は。

教育長 鷹巣中学校管理教室棟を含め、約1億3000万円で長寿命化の補修ができる。

竹山 中学校を統合再編することに支持を得たとのことだが、その根拠は。

町長 パブリックコメントを実施し、素案に盛り込まれている案についての賛同を得た件数が1077件であったため。

竹山 新中学校用地を鷹巣中学校が長島高校跡地かについて、住民投票を実施する考えはないか。

町長 現在のところ住民投票を実施する考えはない。

竹山 入学時に支給する10万円給付金の根拠

は。

町長 入学時に制服やかばん、机等を購入する費用が保護者にとつて大きな負担となつている。制度を具体化する際は関係者の意見を集約する必要がある。

竹山 10万円給付金にふるさと納税制度を利用する考えは。

町長 ふるさと納税が入ってくる見込みがある程度ついた段階で議論していきたい。

竹山 スクールバス運行の見通しは立っているのか。

教育長 中学校のスクールバスでは、最大10路線のドライバーを確保しなければならぬ。関係各課と連携し、協議していく。

竹山 司郎 議員



動画は
こちら

デマンド交通の早期導入に向けて

総務民生常任委員会委員長 兒玉 誠

総務民生常任委員会では、令和6年8月8～9日の2日間、企業誘致、公共交通対策の観点から、薩摩川内市及び宮崎県において調査を行った。

8日は、薩摩川内市東郷町の榑薩摩川内鰻において、村上哲也専務から、会社の沿革及び事業の概要等について説明を受けた。会社は、2014年に設立され、うなぎ加工・販売、うなぎ養殖、真空加工品、焼魚加工、焼き芋加工等を行っており、売上高は68億5000万円とのこと。説明の後、2019年に増設したうなぎ焼成ライン、いわゆるうなぎのかば焼きが、真空パックの製品となっ

て、箱詰めされるまでの工程を見学した。製品は、地元での販売は行っており、すべて関東圏へ出荷しているとの事で、ブリの照り焼きは商品化できないかとの質問が出されたが、「試験販売を行ったがブリの照り焼きは売れない」との事であった。

また、焼き芋も販売しており、長島の紅春香には、興味が示された。ふるさと納税で人気の高いうなぎの取り扱いについては、薩摩川内市、出水市、曾於市、垂水市から原料を持ち込み、それぞれの自治体の返礼品として納入しているとの事であった。

同市隈之城にある養

殖場は、敷地が4900坪と広大で、敷地内でのボーリングにより、一定の揚水が確保され、ICTを活用した適正な温度、酸素量等の管理を行っているとのことだった。

次に、公共交通におけるデマンド交通の導入及び運行状況について、宮崎県西都市にて調査を行った。公共交通の状況は、合併自治体で、市街地が分散していることもあり、路線バスが生活交通路線3路線、広域的コミュニティバス2路線、コミュニティバス7路線運行している。この路線でカバーできない3地区が、デマンド型乗合タクシーを運行している。区域運行のデマ

ンド型乗合タクシーは、運行ルートや停留所を設けず、利用対象区域にある利用者の自宅付近などと目的区域の乗降場所の区間を予約者同士がタクシー車両に乗り合って移動するものである。利用者は、市役所に事前登録したうえで、タクシー事業者に前日の17時までに、電話で予約することとなっており、料金は1回片道400円で敬老パス所持者は200円となっている。

その他、山間部の東米良地区^{ひがしめら}では、地域内交通として、NPO法人が運行する無償運行も行っており、市域全体が何らかの公共交通でカバーされているようである。また、新たな試みとして、自動運転EVバスの実証実験を本年11月、12月に行う予定とのことであった。

終わりに、今回の調査事項であった、企業誘致については、企業の戦略など委員一同理解が深まったものと思われるが、地元の合意、大量の地下水の対策、町の支援の在り方、ふるさと納税返礼品の開発について、更に調査を進める必要があると感じられた。

町当局においては、この間も事業者との協議を進めてきたようだが8月23日、議会に対して行政報告があり、「町は、用地及び水源の確保を行うことで誘致したいとの申し出を行っていたが、企業側

は、町と企業の合同事業とし、将来的には、町に売却したいとの意向であることから、民間による事業展開を希望する町とは相容れない結果となり、うなぎ陸上養殖の誘致は断念する」との報告があった。



公共交通対策について（西都市役所）

デマンド交通の導入については、西都市では、三和交通タクシーが運行主体となっているが、本町においては運行主体からの取組となり、地区数も多いことから、困難を極めることが予想される。巡回バスの利用者は少数との見方もあると思われるが、この方々こそ公共交通が必要な方である。巡回バス廃止までの時間が残り少なくなってきたが、10月には実証実験もスタートすると聞いており、担当課の奮闘に期待したい。

漁船漁業対策の強化を

建設経済文教常任委員会委員長 池田 安彦

建設経済文教常任委員会は、令和6年7月25・26日の2日間、福岡県宗像市において、指定管理者の協定内容及び運営方法等や漁船漁業対策等の取り組みについて調査を行った。

まず、「道の駅むなかた」において、中野駅長から施設の概要、運営、出品者及び出品物、売り上げ状況等、多岐にわたり説明を受けた。「道の駅むなかた」は世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島関連遺産郡を有する宗像市に立地しており、平成20年4月に宗像農業協同組合、宗像市商工会、宗像漁業協同組合、宗像観光協会、宗像市の5団体が出資し

て設立し運営を行っている。敷地面積が約3万㎡と県内でも有数の広さ、駐車場が1万6000㎡と、県内最大規模の駐車台数を誇り、福岡県で10番目に開設した施設であるとのこと。出品者は約600名で農産物、水産物、加工品、工芸品等で、令和5年度の売上は約17億円。まさに九州一の道の駅となっている。他にも集客のため、各種イベントの実施や、SNS、テレビ取材でのPR販売、オンライン販売や、ふるさと納税での販売も行っており、企業努力を行いながら売り上げを伸ばしている。委員からは、施設の改修や、整備について、どのよ

うな対応をしているのかとの質問があり、毎年施設整備の積立として2000万円の負担金を市に支払っているとの事であった。本町においても、今年度で町内の道の駅が指定管理の期間満了となるため、今後の見通しや、運営方針等について協議する必要があると思



「道の駅むなかた」にて運営方法等の説明を受ける委員

われる。
次に、宗像漁業協同組合大島支所において、アカモクの視察を行った。

大島は神湊港から、

北西に6・5^{キロ}の場所に位置し、周囲15^{キロ}、人口700人と玄界灘のど真ん中にあり、沖ノ島周辺の筑前海区を主漁場とした漁船漁業の基地である。始めに田志宗像漁協副組合長より、大島支所の概要について説明を受けた。宗像漁協は、平成15年4月に、宗像、福津市の旧単協(福岡、神湊、大島、地島)の4漁協での合併を行い、平成20年4月に津屋崎、平成26年4月に鐘崎と旧宗像漁協が一つになり、本所は神湊から現状の鐘崎へ移ったとの事である。組合員数は正組合員86名、准組合員8名の合計94名で構成している。

漁種は、まき網、刺網、釣り、採海藻、遊船等で、令和5年度の大島支所における漁獲高は8億2700万円とのことである。

平成19年に漁協青壮年部が中心となり、アカモクの製造、加工を始め、その後、平成29年に直売所「きよしま」をオープン。販売先は「道の駅むなかた」を中心にインターネット販売などで年間1000万を越える売り上げがある。

また、近年6次化産業商品も開発し、離島の一大産業となっており、収穫方法は毎年2・3月頃の時期に潜水作業にて、生えているアカモクの内、海面から3・4割部分のみ刈り取り、種を残しつつ、長く漁業ができるよう徹底した管理と、成熟状況の把握など、地域全体のまとまりある取



宗像漁協での研修の様子

り組みを行っている。加工方法は、洗浄した後、茹でて再度洗浄する。エビやゴミなどを取り除き、裁断、パックに詰めて冷凍するという方法である。

今回の視察研修を通して、継続的な利用を行うためには、資源管理を徹底することが重要であり、アカモクの分布調査や、海藻類を同定する必要があると思われる。近年、漁船漁業は、資源の減少や、燃油の高騰など厳しい状況にある。本町においても、漁船漁業対策をさらに強化して、漁業者の支援に努めるよう期待したい。

総務民生常任委員会

委員長 児玉 誠

委員会付託案件

○議案第69号

鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

○議案第70号

長島町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

○議案第71号

長島町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第75号

一般会計補正予算（第3号）

○議案第76号

介護保険特別会計補正予算（第1号）

○議案第69号及び70号

▼町民保健課

Q. マイナンバーカードの現在の交付率は？また、保険証機能は役

場窓口で登録出来るのか。

A. 8月31日現在で交付率が88・9%、うち、保険証機能の登録者は、国民健康保険が67・2%、後期高齢者医療は56・7%である。

また、保険証機能の登録は随時窓口で実施しており、医療機関に設置してあるカードリーダーでも登録できる。

Q. マイナンバーカードを取得していない人の受診は。

A. マイナンバーカードを持っていない方や、カードは持っているが保険証機能の登録をしていない方は、町が発行する「資格確認書」で保険証の代わりとして使用できる。

○議案第75号

▼総務課

Q. 防災倉庫の場所、機材の配備及び維持管理方法は。

A. 防災倉庫は、平尾ふれあいセンターと片側生活館跡地の横に設置し、バックホーとスライドダンプ、軽トラダンプやチェーンソー等を格納する。維持管理については、通常時は建設課の作業員、災害時は消防団員。



油圧ショベルやダンプが配備される

▼企画財政課

Q. 旧汐見小学校に関して、ジャパンラニングとの契約内容と今後の対応は。

A. 当初は外国人対象の日本語学校を設置する予定であったが、利用内容に計画変更が生じた。今後について協議したところ、賃貸によるコミュニティスペース、宿泊施設、レンタル倉庫等として利用したいとのこと、現在のところ撤退は考えていない。契約期間が令和25年3月までとなっており、今後の運営について協議したい。

Q. 獅子島アイランドセンタートイレ改修では、利便性の向上やバリアフリー化は含まれていないのか。

A. 改修内容は洋式便器のみの取り替えである。バリアフリー化等については、今後検討

していく。

▼地方創生課

Q. 封入封かん機はどのような機能が、また処理件数は。

A. 紙を折りまげ、封入し、糊付けを行う機械で、月に4万2000通の処理が可能である。

▼町民保健課

Q. 新型コロナウイルス予防接種の対象者として自己負担は。

A. 4月1日現在の65歳以上の約7割、2600人を見込んでいる。予防接種費1万5300円のうち、国が8300円、町が4900円を助成し、自己負担は2100円となる。

▼福祉事務所

Q. 子ども医療費助成制度について、医療機関での窓口負担が無くなる時期は。

A. 令和7年4月から現物給付方式となり、窓口負担がなくなる。

◎附帯意見

●企画財政課所管の汐見小学校跡地と契約しているジャパンラニングについて、当初計画に変更が生じているが、今後の運営方針について、再度協議を重ね、早急に方向性を定めるべきである。

●獅子島アイランドセンターのトイレ改修については、バリアフリー化も含めた利便性を生かした抜本的な大規模改修を検討されたい。

※委員会の審査報告は、質疑のあった主な議案のみ掲載しています。

建設経済文教常任委員会

委員長 池田 安彦

委員会付託案件

○議案第72号

団体営土地改良事業計画の変更について

○議案第73号

新たに生じた土地の確認について

○議案第74号

字の区域変更について

○議案第75号

一般会計補正予算
(第3号)

○議案第77号

諸浦港埠頭特別会計補正予算
(第1号)



農地災害復旧現場（川内集落）

○議案第72号

▼耕地林務課

Q. 土地改良事業について、農地に対しての石積工で実施できる条件とは。

A. 国道沿いの段々畑など、特に景観に配慮する必要がある箇所に実施している。

○議案第75号

▼農政課

Q. 農畜産物処理加工施設の備品購入は、指定管理者から要望があったものか。また、施設の修繕負担の内容は。

A. 平成5年の施設開設時に導入された備品で、経年劣化により使用できない状態であると指定管理者から報告があった。施設整備については、協定書に定

めており、みそセンターの場合は100万円以上の本体に係る修繕について、町が実施している。

▼教育総務課

Q. 学校統合基本計画詳細版の策定について、今回は鷹巣中学校分だけ策定するのか。仮に、議会で鷹巣中学校案が否決された場合は、長島高校跡地の基本計画もその後策定する予定か。

A. 基本計画案に対するパブリックコメントの結果を踏まえ、鷹巣中学校の基本計画詳細版を策定する。鷹巣中学校案が否決された場合は、基本計画から策定し直すこととなる。

Q. 基本計画案を策定するためのワークショップには誰が参加するのか。また、基本計画案の完成時期はいつ頃か。

A. ワークショップのメンバーは教員やPTAなどから選定する予定。基本計画案は令和7年3月の完成を予定している。

▼社会教育課

Q. B&Gプール解体工事について、施設のどこにアスベストが使用されているのか。また、アスベストの有無による解体経費の違いは。

A. 調査の結果、管理棟の壁や天井に含まれていることが判明した。アスベスト除去に係る経費は約400万円である。

▼水産景観課

Q. だんだん市場のショーケース等の備品は、町と指定管理者のものが混在しているが、どのように管理しているのか。

A. 町の備品は備品台帳で管理している。

だんだん市場内には、町備品のショーケース9台、だんだん市場所有分が5台、納入業者所有分が3台である。

▼耕地林務課

Q. 農地災害復旧の対象となる事業費及び事業量は。

A. 事業費が40万円以上で該当する。事業量では算定しない。

▼建設課

Q. 県営事業・県道平尾川床線の道路改良計画は。

A. 今年度は、これまでの工事に引き続き、山側の法面掘削を計画しており、県に確認したところ延長は240mほど。残土が発生した場合は町道改良に調整する。

Q. 道路新設改良費の物件移転等補償費の減額理由は。

A. 電柱移転を予定していた路線で、移転の必要性がなくなったことなどによる減額。

○議案第77号

▼建設課

Q. 諸浦港可動橋の油漏れの状況は。

A. 当初は若干のオイル漏れだったが、現在は漏れの量が急激に増加している。補修方法を検討し、現在、業者に見積依頼中である。

◎附帯意見

●指定管理者制度における大規模改修や修繕費並びに備品購入費について、各担当課で費用負担額に差異が生じている。

今後は各課連携を図り、指定管理に伴う協定書の見直しを視野に検討すべきである。

※委員会の審査報告は、質疑のあった主な議案のみ掲載しています。

議会のうごき

7月

- 3日 道の駅指定管理者視察研修（始良市、垂水市）
- 4日 第1回広報特別委員会（No.77）
- 5日 第2回広報特別委員会（No.77）
- 8日 被爆79周年核廃絶・平和行政に関する要請
- 10～17日 決算審査・工事事務監査
- 16日 あづま海水浴場海開き安全祈願祭
- 19日 例月出納検査
- 21日 第72回三地区親善体育大会（阿久根市）
- 22日 第7回学校統合再編調査特別委員会
- 23日 長島町戦没者追悼式
- 県町村監査委員協議会役員会及び県町村監査委員協議会監査委員研修会（鹿児島市）
- 阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）
- 24日 出水地域開発促進協議会総会（出水市）
- 県議会産業経済委員会行政視察
- 25～26日 建設経済文教常任委員会所管事務調査
- 26日 赤潮被害における県知事への要望活動（福岡県示像市）
- 27日 サマーフェスティバルinながしま（鹿児島市）
- 29日 令和6年度天草・出水県際交流促進協議会及び天草・長島架橋建設促進期成会総会（熊本県天草市）
- 31日 富山県水見市行政視察
- 町村議長会理事会（鹿児島市）

8月

- 1日 令和6年度鹿児島県公立学校施設整備期成会評議員会（鹿児島市）
- 市町村政研修会（鹿児島市）
- 3～4日 第45回せたがやふるさと区民まつり（東京都）
- 5日 令和6年度獅子島架橋建設促進期成会理事会
- 8～9日 総務民生常任委員会所管事務調査（薩摩川内市・宮崎県西都市）
- 21日 議会運営委員会（第3回臨時会のため）
- 決算審査意見報告・例月出納検査
- 阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）
- 出水広域連携・防災「道の駅」整備推進協議会総会（出水市）
- 23日 第3回臨時会
- 26日 第4回長島町脱炭素化推進協議会
- 「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅整備促進協議会総会（阿久根市）
- 28日 議会運営委員会（第3回定例会のため）
- 6～25日 第3回定例会
- 18日 第8回学校統合再編調査特別委員会
- 24日 阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）
- 26日 杉ノ段招魂祭
- 例月出納検査
- 30日 阿久根地区消防組合決算審査（阿久根市）

9月



9月なのに猛暑日
続出「この暑さいつ
まで続く？」と、つ
ぶやきたいこの頃です。皆さん体
調管理は大丈夫でしょうか。7月
にはマッコウクジラの漂着等、普
段見る機会がないことが本町に出
現しました。しかも、ふっとかク
ジラにびっくりしました。

中学3年生の生徒にとっては最
後の運動会。オリンピックに負け
ないくらいのがんばりで、想い出
の多い運動会になったのではない
でしょうか。先日のお十五夜、綱引
きは楽しかったでしょうか。

人生の先輩方々、敬老の日おめ
でとうございました。これからも
もっともっと人生を楽しんで下さ
い。スポーツの秋、食欲の秋、読
書の秋、芸術の秋等、皆さんはど
んな秋を楽しみたいでしょうか。

（中浦 雅彦）

【発行責任者】

議長 林 誠治

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 上平 重

副委員長 中浦 雅彦

委員 楠元 康博

委員 二階堂 猛

竹山 司郎

